

工業簿記問題詳説

専修大学教授

中山雅博著

多賀出版

著 者 略 歴

中 山 雅 博 (なかやま まさひろ)
昭和41年 早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了
(亜細亜大学講師、専修大学助教授を経て)
昭和51年 専修大学経営学部教授、現在に至る。
著 書 「原価計算問題詳説」(多賀出版)
「工業会計詳説」(多賀出版)
共 著 「原価計算精説」(同文館)
「原価管理」(同文館)
「原価管理の診断」(同友館)
「近代管理会計論」(中央経済社)
「現代会計論」(中央経済社)
「現代簿記論」(中央経済社)
「体系簿記会計演習」第3巻(同文館)
「工業簿記問題集」(多賀出版)
「関係会社の会計と管理」(税務研究会)

工業簿記問題詳説

昭和55年10月10日 印 刷
昭和55年10月15日 発 行

著 者 中 山 雅 博
発行者 多 賀 省 次
印刷者 大 森 義 雄
製本者 高 橋 幸 三

発行所 多賀出版株式会社

〒102 東京都千代田区飯田橋3の2の12
電 話：03(262)9996代
振 替 口 座：東京8-84518

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

三栄印刷／美行製本

1034-800047-4484

序 文

工業簿記は、工企業における経営活動の結果を貨幣額によって測定、計算、記録、分析、報告する会計システムである。企業規模の拡大や経営活動が複雑錯綜するにつれ、企業全体の経営成績や財政状態を取まとめるだけでなく、企業を構成する組織単位の経営成績を把握することが重要となってきた。

工業簿記の知識を習得し、これを実際に適用するには、基礎概念、記帳方法、記帳・計算手続、会計報告書の作成を観念的に学習するだけでは十分とはいえない。工業簿記の理論や記帳・計算を完全に習得するには、記帳・計算、報告書の作成に関する問題を多数手掛け、それを繰り返し解答していただくことである。本書は工業簿記の原理を一通り学習した読者が、より高度な知識を習得しうるように問題を厳選し、その例解を示したものである。

本書を執筆するに当たり、特に次の諸点を配慮した。

- ① 費目別、部門別、製品別の記帳・計算問題については、実際原価の場合と予定原価の場合をそれぞれ掲げ、両者の比較対照ができるようにした。
- ② 総合原価計算をどのように体系化するかは論者によって異なるものの、その類型に即して多種にわたる総合原価の記帳・計算問題を例解した。
- ③ 工業簿記が外部報告会計にとどまっているのであれば、記帳・計算の対象となる原価概念は実際原価だけで十分であろう。しかし、経営管理目的に資するには標準原価の会計、直接原価の会計、標準直接原価の会計などを取り扱う必要がある。そこで本書では、全体との調和を考えながら、これらの記帳・計算問題を積極的に取り入れて、その例解を試みた。

工業簿記に関する理論問題と記帳・計算問題は、公認会計士の第二次試験（簿記論と原価計算）および第三次試験、並びに日本商工会議所の簿記検定試験１級（工業簿記と原価計算）および２級（工業簿記）に出題されたものの中から適当に選択した。本書を体系的なものとするために、多数のオリジナルな問題を追補した。

2 序 文

工業簿記の初級者に役立つような問題を多く配列するように努めたが、問題の大部分は中級者または上級者、もしくは公認会計士試験、税理士試験、簿記検定試験などの受験者を対象とする結果になってしまった。

簿記検定試験の問題の解答は公表されている。本書における解答もこれに準拠して行っているが、編集上の都合から用語、様式について若干の変更を行った箇所もある。公認会計士試験については解答が公表されていない。そこで、類書や雑誌などに模範解答が掲げられている場合には、できる限りこれを参照したが、最終的には出題者の著書、論文などを参考にして、出題意図を推測しながら解答を行った。したがって、これら問題に対する例解は、あくまでも筆者の個人的見解に他ならないので、読者におかれてはこの点を十分にご留意いただきたい。

工業簿記の理論問題や記帳・計算問題は原価計算におけるものとオーバーラップするところが多い。原価計算に関する理論問題と計算問題については、「原価計算問題詳説」と題して出版した（昭和54年、多賀出版）。本書はその姉妹書となるように計画されたものである。収録する問題の選択に際し、両書での重複はできるだけ避けるようにしたが、それぞれを独立した体系的な書物にしようとすると、基本的に重要な事項の重複は避けがたい。また本書における「類題」の多くは前掲の別著で例解されているので、参照していただければ幸いである。

本書の執筆に当たり、多くの先生方の研究に負うところが少なくない。また、本書には筆者の思いも及ばない間違いや説明不足、数字の誤植などがあるかもしれない。それらについては、読者の忌憚のないご教示を賜れば幸いである。

最後に、現今の厳しい出版事情にもかかわらず本書の出版を快諾され、多大なご協力とご支援をいただいた多賀出版の多賀省次氏に衷心より御礼を申し上げる。

昭和55年 8月15日

中山雅博

目 次

第 1 章 工業会計総論

問題 1	工業簿記の特質	3
問題 2	工業簿記と原価計算の関係	4
問題 3	原価計算期間の意義	5
問題 4	原価計算の目的	6
問題 5	財務諸表作成目的の原価計算	7
問題 6	制度としての原価計算と特殊原価調査	9
問題 7	原価計算制度の分類	10
問題 8	製造原価計算と総原価計算	11
問題 9	実際原価計算と予定原価計算	12
問題10	見積原価計算、標準原価計算、正常原価計算	13
問題11	全部原価計算と部分原価計算	15
問題12	原価の本質	16
問題13	非原価項目	16
問題14	原価計算制度における原価要素の分類基準	18
問題15	直接費と直接原価の区分	19
問題16	変動費と固定費の区分	20
問題17	固定費の特徴およびその管理	21
問題18	経営活動費と経営能力費の区分	22
問題19	管理可能費と管理不能費の区分	25
問題20	製造指図書と原価計算との関係	26

第 2 章 工業簿記の構造

第 1 節 商工業簿記の記帳と財務諸表の作成

問題21	商工業簿記における製造原価と売上原価を算定するまでの仕訳 ..	27
------	---------------------------------	----

2 目 次

問題22	商的工業簿記における仕訳と勘定記入－1	29
問題23	商的工業簿記における仕訳と勘定記入－2	33
問題24	製造原価を算出するまでの仕訳と算出表	38
問題25	商的工業簿記による残高勘定、製造勘定、損益勘定の作成	42

第2節 完全工業簿記の記帳と財務諸表の作成

問題26	勘定記入の完成	47
問題27	勘定記入と仕訳	49
問題28	売上原価を算定するまでの一連の勘定記入－1	50
問題29	売上原価を算定するまでの一連の勘定記入－2	51
問題30	売上原価を算定するまでの一連の勘定記入－3	52
問題31	売上原価を算定するまでの仕訳および勘定記入	54
問題32	月次損益を算定するための一連の勘定記入と締め切り－1	57
問題33	月次損益を算定するための一連の勘定記入と締め切り－2	58
問題34	月次損益を算定するまでの仕訳と勘定締め切り－1	59
問題35	月次損益を算定するまでの仕訳と勘定締め切り－2	62
問題36	売上原価を算定するまでの仕訳と製造原価報告書の作成	66
問題37	製造原価、売上原価および営業損益の算定	70
問題38	製造原価報告書の作成	72
問題39	製品種類別原価の勘定記入	73
問題40	財務諸表の作成	76

第3章 原価要素別の会計

第1節 材料と材料費の会計

問題41	材料副費の会計処理	81
問題42	材料購入原価の計算と受入価格差異	82
問題43	材料副費の処理と直接材料費・製造間接費の関係	84
問題44	材料副費予定配賦率を適用する場合の仕訳	86
問題45	材料副費予定配賦率を適用する場合の勘定記入	89
問題46	材料の取得と消費の仕訳	92

問題47	材料元帳への記入	93
問題48	材料元帳と移動平均法	96
問題49	材料元帳の締め切りと指図書別消費額の算定	97
問題50	棚卸計算法と逆計算法の機能の相違	101

第2節 給与と労務費の会計

問題51	賃金支払帳と賃金仕訳帳	105
問題52	賃金勘定の記入と仕訳	107
問題53	支払賃金と消費賃金の仕訳－1	108
問題54	支払賃金と消費賃金の仕訳－2	108
問題55	勘定記入の完成と直接整理法	109
問題56	支払賃金に関する勘定記入と仕訳	111
問題57	労務費に関する諸勘定への記入	113
問題58	支払賃金と消費賃金の仕訳	114
問題59	支払賃金と消費賃金の勘定記入	116
問題60	直接労務費の把握方法	118
問題61	時間賃率の算定	119
問題62	消費賃率の種類と相互の相違点	120
問題63	実際賃率の短所と予定賃率の長所	122
問題64	消費賃金の仕訳	123
問題65	消費賃金に関する勘定記入と仕訳	123

第3節 経費と製造間接費の会計

問題66	経費仕訳帳の完成と仕訳	127
問題67	費目の発生額を記入する補助簿	128
問題68	経費項目の把握方法と仕訳	129
問題69	製造間接費内訳表の作成	133
問題70	製造間接費に関する仕訳	135
問題71	製造間接費の仕訳と補助元帳	136
問題72	費目別の月次および年次の決算仕訳	137
問題73	製造間接費配賦基準の特徴と長短	138

4 目 次

問題74	各種の配賦基準による製造間接費の実際配賦－1	140
問題75	各種の配賦基準による製造間接費の実際配賦－2	140
問題76	機械費計算月報の完成と製造間接費配賦額の算定	142
問題77	製造間接費の予定配賦率を使用する理由	143
問題78	製造間接費の予定配賦率	144
問題79	製造間接費を配賦するための予定操業度	146
問題80	製造間接費配賦差異の期末処理	147

第4章 部門費の会計

問題81	原価部門の設定	149
問題82	原価部門に集計する原価の範囲	150
問題83	実際配賦による部門費の仕訳－1	151
問題84	実際配賦による部門費の仕訳－2	152
問題85	部門共通費の配賦基準の要件と種類	153
問題86	部門費集計表の作成	154
問題87	補助部門費の配賦基準	156
問題88	補助部門費の他部門への配賦方法	157
問題89	部門費の集計と補助部門費の製造部門への配賦の仕訳	158
問題90	部門費振替表の作成	159
問題91	補助部門費配賦表の作成（相互配賦法）と仕訳－1	160
問題92	補助部門費配賦表の作成（階梯式配賦法）と仕訳－2	161
問題93	補助部門費の製造部門への配賦	162
問題94	実際配賦による勘定記入	164
問題95	製造部門費の操業度別発生額の計算	166
問題96	予定配賦による部門費の仕訳	168
問題97	予定配賦による勘定記入と仕訳	169
問題98	予定配賦による勘定記入*	170
問題99	予定機械時間率の算定と指図書別配賦	173
問題100	機械センター別製造間接費予算表の作成	174

第5章 個別原価の会計

問題 101	個別原価計算における直接労務費の計算	177
問題 102	単純個別原価計算表の作成	178
問題 103	実際単純個別原価計算の勘定記入と仕訳	180
問題 104	修繕費、自家用機械の製作等の仕訳	182
問題 105	仕損費の計算および処理－1	183
問題 106	個別原価計算における補修費の処理	185
問題 107	仕損費の計算および処理－2	186
問題 108	補修費に関する仕訳	188
問題 109	部門別個別原価計算表の作成	189
問題 110	製品の完成時と販売時の仕訳	190
問題 111	工事進行基準による請負工事総利益の計上	190
問題 112	工事完成基準と工事進行基準の会計処理	194
問題 113	工事進行基準による会計処理	196
問題 114	原価差異が生ずる取引の仕訳	199
問題 115	実際部門別個別原価計算の勘定記入－1	200
問題 116	実際部門別個別原価計算の勘定記入－2	203
問題 117	実際部門別個別原価計算の勘定記入－3	204
問題 118	実際部門別個別原価計算の勘定記入－4	207
問題 119	自製部品を含む実際個別原価計算の勘定記入	211
問題 120	予定単純個別原価計算の勘定記入－1	215
問題 121	予定単純個別原価計算の勘定記入－2	217
問題 122	予定部門別個別原価計算と原価差異の算定	220
問題 123	予定部門別個別原価計算の勘定記入	223
問題 124	実際原価計算における原価差異の算定、分析、処理	227

第 6 章 総合原価の会計

第 1 節 単純総合原価計算

問題 125	単純総合原価計算において直接費と間接費に分類する意義	229
問題 126	期末仕掛品評価の意義	230
問題 127	仕掛品評価方法の種類	231
問題 128	月末仕掛品原価の計算	233
問題 129	先入先出法による単純総合原価計算－1	236
問題 130	純粹先入先出法による単純総合原価計算	237
問題 131	平均法による単純総合原価計算－1	238
問題 132	平均法による単純総合原価計算－2	239
問題 133	平均法、先入先出法、後入先出法による期末仕掛品の評価	240
問題 134	単純総合原価計算の勘定記入と仕訳－1	242
問題 135	単純総合原価計算の勘定記入と仕訳－2	243
問題 136	仕損の意義、仕損費の計算と処理	245
問題 137	減損の意義と減損費の処理	247
問題 138	後入先出法による単純総合原価計算－1	249
問題 139	後入先出法による単純総合原価計算－2	251
問題 140	仕損が発生する場合の単純総合原価計算	252
問題 141	総合原価計算における仕損品の補修	253
問題 142	平均法による単純総合原価計算－3	255
問題 143	後入先出法による単純総合原価計算－3	257
問題 144	実際単純総合原価計算の勘定記入	258
問題 145	仕掛品、完成品および売上品の原価の算定と仕訳	259
問題 146	予定単純総合原価計算における勘定記入の完成	262
問題 147	予定単純総合原価計算の勘定記入	263
問題 148	見積総合原価計算の勘定記入	267

第 2 節 工程別総合原価計算

問題 149	工程別総合原価計算の意義、工程区分、種類	271
--------	----------------------	-----

問題 150	全原価要素工程別計算の意義	272
問題 151	累加法の意義と計算手続	273
問題 152	非累加法の意義と計算手続	274
問題 153	先入先出法による工程別計算（累加法）	276
問題 154	平均法による工程別計算（累加法）－ 1	277
問題 155	平均法による工程別計算（累加法）－ 2	278
問題 156	平均法による工程別計算（累加法）－ 3	280
問題 157	実際工程別計算（累加法）の勘定記入－ 1	282
問題 158	実際工程別計算（累加法）の勘定記入－ 2	283
問題 159	実際工程別計算（累加法）の勘定記入と仕訳－ 1	284
問題 160	実際工程別計算（累加法）の勘定記入と仕訳－ 2	287
問題 161	実際工程別計算（累加法）－ 先入先出法	290
問題 162	実際工程別計算（累加法）－ 先入先出法・平均法	292
問題 163	正常仕損、異常仕損がある場合の工程別計算の勘定記入	294
問題 164	先入先出法による工程別計算（非累加法）	298
問題 165	平均法による工程別計算（非累加法）	299
問題 166	実際工程別計算（非累加法）の勘定記入と仕訳	301
問題 167	実際工程別計算（非累加法）の勘定記入	305
問題 168	予定工程別計算の勘定記入と工程振替差異の算定	307
問題 169	予定工程別計算（累加法）の勘定記入	311
問題 170	予定工程別計算（非累加法）の勘定記入	315
問題 171	加工費工程別計算の意義	318
問題 172	先入先出法による加工費工程別計算（累加法）	319
問題 173	実際加工費工程別計算（累加法）の勘定記入と仕訳	320
問題 174	実際加工費工程別計算（累加法）の勘定記入	323
問題 175	予定加工費工程別計算（累加法）の勘定記入	325
問題 176	予定加工費工程別計算（非累加法）の勘定記入	329

第 3 節 等級別総合原価計算

問題 177	等級別総合原価計算の手続	333
問題 178	等価係数を決定する基準	335

8 目 次

問題 179	等級品原価計算表の作成	336
問題 180	等級製品勘定への記入	337
問題 181	等級製品原価の算定と仕訳	338
問題 182	後入先出法による等級別計算	340
問題 183	実際等級別計算（先入先出法）の勘定記入と仕訳	342
問題 184	実際等級別計算（平均法）の勘定記入	346

第 4 節 連産品と副産物の会計

問題 185	連産品計算の意義と特質	351
問題 186	連産品原価の計算手続	351
問題 187	連産品原価の算定と等価係数の決定法	352
問題 188	連産品原価計算表の作成	355
問題 189	連産品原価の算定	355
問題 190	連産品計算の勘定記入と仕訳	356
問題 191	連産品工程別計算の勘定記入	361
問題 192	副産物の意義と特質	365
問題 193	副産物の処理	365
問題 194	副産物の評価と仕訳	367
問題 195	5 つの副産品評価の仕訳	368
問題 196	3 つの副産物評価と勘定記入	370

第 5 節 組別総合原価計算

問題 197	組別総合原価計算の意義と特質	375
問題 198	組別総合原価計算の形態	376
問題 199	組別総合原価計算表の作成	378
問題 200	組別総合原価計算表の完成	379
問題 201	組別総合原価計算の勘定記入と仕訳	381
問題 202	組別総合原価計算の勘定記入	384
問題 203	組別間接費工程別計算の勘定記入	387
問題 204	組別加工費工程別計算の勘定記入	391
問題 205	組別全原価要素工程別計算（累加法）の勘定記入	393

第 7 章 標準原価の会計

問題 206	標準原価計算の目的	399
問題 207	標準原価の種類	400
問題 208	標準原価と予算との関係	401
問題 209	間接費の標準配賦率と予定正常配賦率との比較	402
問題 210	部門別標準製造間接費配賦率の算定	403
問題 211	インプット法とアウトプット法	405
問題 212	直接材料費差異の差異分析法	406
問題 213	直接労務費差異の差異分析法	408
問題 214	製造間接費差異の差異分析法	409
問題 215	実績標準製造原価の算定と標準原価差異分析	412
問題 216	材料受入、製造、原価差異に関する仕訳	415
問題 217	受入価格差異、配合差異、歩留差異の分析	417
問題 218	直接労務費差異と仕損費差異の分析	420
問題 219	公式法による製造間接費差異分析	423
問題 220	多桁法による製造間接費差異分析	424
問題 221	製造間接費差異分析と計画操業度における間接費配賦率の算定	426
問題 222	直接原料費差異と加工費差異の分析	428
問題 223	パーシャル・プラン、修正パーシャル・プラン、シングル・プラン	431
問題 224	仕掛勘定への記入とそのための一切の仕訳	433
問題 225	パーシャル・プランによる仕訳－1	437
問題 226	パーシャル・プランによる仕訳－2	439
問題 227	パーシャル・プランによる仕損差異等の勘定記入	441
問題 228	パーシャル・プランによる勘定記入－1	444
問題 229	修正パーシャル・プランによる勘定記入－1	448
問題 230	パーシャル・プランによる勘定記入－2	450
問題 231	修正パーシャル・プランによる勘定記入－2	455
問題 232	修正パーシャル・プランによる勘定記入－3	457
問題 233	修正パーシャル・プランによる勘定記入－4	460

問題 234	シングル・プランによる勘定記入の完成	464
問題 235	シングル・プランによる勘定記入－1	467
問題 236	シングル・プランによる勘定記入－2	470
問題 237	標準工程別計算とパーシャル・プランによる勘定記入	477
問題 238	標準組別工程別計算の勘定記入と原価差異分析	482
問題 239	標準原価差異の会計処理	489
問題 240	標準原価差異分析と原価差異の調整	491
問題 241	標準原価計算による損益計算書の作成	494
問題 242	標準組別工程別計算（累加法）とシングル・プラン	498

第 8 章 直接原価の会計

問題 243	直接原価計算の意義	511
問題 244	直接原価計算の特徴	512
問題 245	変動費と固定費の分解方法	513
問題 246	期間損益の計算構造	515
問題 247	期間損益をめぐる直接原価計算と全部原価計算の相違点	516
問題 248	損益分岐点と計算式	518
問題 249	直接原価計算方式による損益計算書の作成	519
問題 250	直接原価計算と全部原価計算による損益計算書の作成－1	522
問題 251	直接原価計算と全部原価計算による損益計算書の作成－2	523
問題 252	直接原価計算と全部原価計算による損益計算書の作成－3	525
問題 253	四半期別損益計算書の作成	527
問題 254	実際直接原価計算の勘定記入	532
問題 255	実際直接原価計算の勘定記入と仕訳	534
問題 256	実際直接原価計算による月次決算	539
問題 257	精算表の完成	545
問題 258	予定直接原価計算の勘定記入－1	546
問題 259	予定直接原価計算の勘定記入－2	551
問題 260	予定直接原価計算の仕訳	556
問題 261	標準直接原価計算における差異分析	558

問題 262	標準直接原価差異分析と損益計算書の作成	561
問題 263	標準直接原価計算による月次決算	566

第 9 章 工場会計の独立

問題 264	工場元帳制の意義、設定される勘定の範囲	575
問題 265	日常の会計処理と決算時の会計手続	576
問題 266	仕 訳	578
問題 267	工場元帳と本社元帳へ記入するための仕訳－1	579
問題 268	工場元帳と本社元帳へ記入するための仕訳－2	580
問題 269	個別原価計算の場合の一連の仕訳	583
問題 270	内部振替利益の計算と除去の仕訳	586
問題 271	工場別損益計算書の作成と内部取引除去の仕訳	588
問題 272	本支店合併精算表の完成	590
問題 273	本社工場合併精算表の完成	594
問題 274	本社工場合併財務諸表の作成	596
問題 275	製造原価の計算、損益計算書と貸借対照表の作成	600
問題 276	損益計算書と貸借対照表の完成	605

第 10 章 決 算

問題 277	月次損益の勘定記入と締め切り	611
問題 278	残高試算表の作成－1	613
問題 279	残高試算表の作成－2	617
問題 280	整理後試算表の完成	621
問題 281	精算表の意義と機能	627
問題 282	精算表に製造欄を設ける場合と設けない場合	627
問題 283	継続的に原価計算を行っている場合の精算表	628
問題 284	期末に原価計算を行う場合の精算表	632
問題 285	期末に原価計算を行わない場合の精算表	636
問題 286	連結精算表の完成	637

12 目 次

問題 287	製造原価報告書の作成－1	643
問題 288	製造原価報告書の作成－2	645
問題 289	製造原価報告書と損益計算書の完成	646
問題 290	損益計算書と貸借対照表の作成	647
問題 291	財務諸表の作成	650
索 引		657
問題一覧表		668